

刊夕日八十月九



定額一圓五角 月金五圓 郵費五圓
廣告料五圓 印刷料一圓 行金五圓
日曜 祭日 日休 日休
發行所 警報新報社 東京市本町一丁目
電話 六二〇〇
印刷所 警報印刷株式会社 東京市本町一丁目

成辰役の回顧

平陽 老人

十四、白河及び熊町方面の戦

七月十三日輪王寺法親王白河城に入り奥羽列藩の軍務を攬す、板倉、小笠原兩侯片倉小十郎と之を城外に迎ふ。

全十四日仙臺兵根田に至る、其の將泉田志摩途中大和久(矢吹の南)より逃れて戦地に到らず、會し大雨泥濘を没す。
全十五日東軍白河城を攻めんとし會津の兵二隊は長坂方面に四隊は仙臺共と合し大谷地に向ひ一隊を以つて山神山を扼す、諸隊利あらずして退き兵を山小屋に收む。

全十六日我が兵(會津)仙臺、二本松、三春、棚倉の兵を合し、棚倉城を回復せんとし石川郡淺川村より兵を進め、淺川の渡頭を隔て、銃撃す西軍釜子より來り我が兵を破り背後を衝く、三春兵離反し西軍に投じて反撃す、東軍苦戦し死傷多し退いて兵を須賀川及び郡山に收む。
此の日東海岸方面に於いては、仙臺兵は常磐街道を進み、米澤の兵は西方松林

(三)

の間伏し、純義隊、彰義隊及び中村の兵は東海岸の防波堤に據り西軍の來るを待つ、暫らくして西軍大に來り仙臺兵に迫り砲銃を亂發す、仙臺兵進んで戦ふと雖も衆寡敵せずして退く、西軍の追撃頗る急なり、此の時西方の林間に伏したる米澤兵は東海岸の諸兵と共に起りて西軍の背後を衝く、西軍狼狽し屍を踏えて走る、東軍勝に乗じ追撃し之を四ツ倉に走らす、西軍殺傷過當、東軍の死傷は僅かに十餘人に過ぎず、此の日兵を熊野に收む、列藩の將校相議して曰く、東軍大捷を得るも援なし、而して益々加はり勢支ふべからず、各兵

軍對仙臺、米澤、相馬平藩等との戦鬪及び其の他の記事を掲げたるを以て彼此併せ讀むを可とす。(大尾)

ノート

毛織物は新しい新開紙で二重か三重に包んで藏ふと虫がつかない

を率えて國に歸るに如かずと、十七日全軍酒を酌んで告別し、互に辛酸の勢を慰し、十八日兵を各封内に收む、林昌之助は此の地を去り二十二日若松に入り、人見勝太郎は仙臺に到る。

地相 人事 家相 鑑定
平野 高島 野澤 前易 所象
九月十九日戊子六白赤口平

【三碧】新企の事に手を出して失敗する事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【四緑】我望事吉祥を得日なれば人に煽動と家内に争論を起す勿れ東西凶【五黄】金談縁談共に他人の應援を得て目的を達す成亥と辰己は凶なり【六白】諸事難願を持たれ頭痛八巻と云ふ日なれば等遜以て明日が吉【七赤】金談縁談營業等に吉利を得るの吉日なり成亥と辰己が凶なり【八白】金は手に入り貫ひ物はありまた普請雜作の心配も起る吉日東北凶【九紫】酒氣怪俄に注意して現狀維持が吉未申丑寅凶

外科 X 光線科 性病科 外科

平町田町 安齊外科醫院 電話四七五番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します 平町田町六九 喜多流 仕舞 白土會

時代ハ有價證券デス

手輕テ理想的六分五厘配當當社ノ御利用ヲ乞フ。 簡單ニ金融モ致シマス。 各地出張所代理店募集。 高級社員招聘 帝都證券株式會社平支部 平町白銀町松崎ビル内 東京モリス會社トハ全然別會社ヲ關係有リトセン 誤解ノ無イ様願ヒマス。

外務職員採用

初任固定給 月三十圓 二十五才以上男女を問はず 履歷書携帶左記へ面談。 毎日午後 平町田町一七 レストランサンロシ方 仁壽生命平駐在 吉田仁三郎 電話三五二番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科 平南町(電話二七〇番) 大和田醫院

耳鼻咽喉科専門

入院 應需 平町田町七〇番地 山内醫院 醫學士 山内亨吉 電話六九一

旭硝子株式會社製品

板ガラス 赤菱印 菓子 壘 菓子 食器 其他各種 松崎硝子製作所 平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

第四校敷地

非公開裡に

審議を遂ぐ

第四小學校建設の敷地問題に關しては十六日の町會席上協議の形式に依つて非公開裡に慎重審議を遂げたが右敷地は既記の如く小太郎町及び堂根町の新川寄り水田一萬四千六百六十六坪を買収せんとする先決案に對し買収交渉委員の

花澤久一郎 堀喜一 高橋龜松 吉田寅之輔 坂本隆藏 川崎文治 吉田

二段の大將顔色なし

平商の力闘奏功して引分

古河對柔道試合

既報平商對古河の柔道試合は昨日午後二時より古河炭礦の道場に於いて青天目五段審判の下に舉行され昨年惜敗した古河軍は山野邊二段を大將に控えせしめ平商を一舉に葬らんとしたが平商軍よく闘ひ五對五の同點であつた因に戦績は左の如くである

同	○	會川
同	○	綠川
同	○	志賀
同	○	佐藤
平野	引分	同
鈴木	○	酒井
山野邊	○	同
山野邊	引分	同

入山軍惜敗

水高と水泳戦

石城郡湯本町入山炭礦水泳部對水戸高等學校の競泳會は昨十七日午前十時より同礦プールに於いて行はれたが六十三對五十八で入山チーム惜敗した尙午後一時

りは同礦グラウンドに於いて行はれた入山チーム對郡山工業の野球戦は六對三で入山の敗戦に終つた

平町區長決定

既報 去る十六日の平町會に附議された左記五氏の區長並に區長代理推薦の件は、これでも可決され十六日付を以つて任命された

(區長)一丁目明智榮司

新進の遞友善戰

終ひに強敵浪江を屠り

縣大會出場權獲得

既報第三回濱三郡軟式野球大會は昨日午前八時より開催中平商第一の三球場で精銳十三チームが夫々覇を爭ひ結局全浪江對平遞友の決勝戦となり午後五時より平商球場で球審石坂壘審水竹佐藤熊谷審判の下に開催前年の優勝全浪江と新進の平遞友何れに勝味あるか一般觀衆を熱狂せしめたが日没の爲め四回戦で終りを告げ遂に平遞友が二對一のスコアにて榮ある優勝旗を授與され来る十月一日郡山市に開かれる縣大會に出場する権利を獲得した因に各チームの戦績は左の如くである

勿來	11	5	岡田川
平遞友	14	3	富岡
綴採炭	9	2	倉
△準決勝			
平遞友	2	0	綴採炭
全浪江	4	2	勿來
△決勝			
平遞友	2	1	浪江
遞友	0	1	浪江
浪江	0	0	1

法曹對營林

團對平營林署の野球試合は去る十六日午後二時より第一校グラウンドで行はれた戦績に依り法曹團惜敗した

法 0 6 0 0 0 0 A 6A
一 二 三 四 五 六 七
營 3 0 0 1 1 0 0 5

常設館たより

◆平館 日本軍事映畫特別興業 日活軍事映畫廣瀬恒美主演「密偵」日活作品「血染の鐵筆」海軍省指導軍令部後援「無敵艦隊」

平町人事

△白銀町四二 鈴木兼儀氏 三女久子
△佐賀縣小城郡芦刈村字三王崎岡本萬作氏(二七)北月一鳥居ミツ(二五)

平職業紹介所報告

△配達夫 二十六才 尋卒 日給五六十錢(平町某)
△菓子製造見習 二十才 尋卒 月五圓(平町某)
△雜役 十八才 尋卒 月七八圓(平町某)
△小店員 十三才 尋卒 仕着小遣(平町某)

回人を求める方

△ボール箱製造 二十二才 尋卒 給料面談(好間村某)
△雜婦 六十才 無學 給料面談(平町某)
△商店雜役 三十九才 尋四修 給料面談(平町某)
△坑夫 四十二才 高卒 給料面談(赤井村某)

巖谷先生!

川崎小鳥
先生の遺懐
◆先日の葬儀で上京の際も銀座の喫茶店に落ち合つて種々の追憶にふけつたが結局「巖谷の前に巖谷なく巖谷の後に巖谷なし」と一

致した、此の偉大な足跡を残した先生は、元醫者に成る筈で教育を受けた、先生は大正二年に「僕が醫者に成つて居たら」と題して左記の如く所懐を述べて居る。僕が醫者になつて居たら?.....とは今頃になつて時々浮んで来る考へである。一體僕の家は、代々藩の醫者を勤めて居たのだ、だから家に生れた者は、誰か知ら一人は醫者にならねばならぬと云ふ、人為の宿命が極めて居た。

で、長男に生れた僕の父は、即ち其の宿命によつて型の如く醫者に成つた事は成つたが、醫者としてはちと娯樂が過ぎ過ぎて、壯年の頃例の勤王運動に身を投じて、遂に藥箱を顧みなくなつてしまつた。

で、中年を官吏生活に、晩年を文人生活に送り盡したが、幸ひ子供が大勢あつたので、その中の一人は是非家の業を嗣がせやうと思つた。所が長男は冶金學、次男は土木學と、夙くから他の専門に志したので、遂にその白羽の矢は三男たる僕の頭に降りかゝつた。漸く物心の付きかかつた僕を捕へて「坊ちゃん大きくなつたらば、只で病氣を癒して下ださいよ」など、出入の者にかゝられた事は今でもよく覚えて居る。

こんな風だから、僕は小學を出るが出ないに、はや醫者になる準備に取りかゝつた、即ち獨逸語を學ばせられたのだ。尤もこれは三十年も前の話、今の様に完全な中學制は無かつたから僕は決して一つ所には居なかつた。即ち初めは訓蒙學校、次に醫學豫備學校、最後に獨逸學協會學校と三たび學窓を遷したのである。孟母が開いたら何と云ふだらう? (此項續く)

衣裳御着替

夏から秋・冬へ!!!
特に勉強致します
旭屋一六銀行
平三丁目 電話四二五番

草汁

純郷土文藝誌
原稿募集—短篇小説、短歌詩俳句、民謡等
發行所 草汁堂
千葉縣山武郡公平村東名二四八
福島縣平支那窪田志朗

河中に轉落 行衛不明に

救助船が搜索

石城郡草野村大字下神谷字澤帯居住農新妻保太郎(三三)は去る十六日午後六時頃友人方で二升餘の酒を飲み泥酔し同村仁井田地内横川橋を通行中河中に轉落したのを通り合した福山某が発見救助船を出す用意中屍体となつて海中に押流されたらしい行方不明となつたので青年團員が出動捜査したが遂に発見されなかつた

平商庭球部

縣下唯一の折紙付

神宮豫選に大勝す

既報警中小川川隅、平商安島木田、磐女前田戸來の各庭球選手は昨日午前九時より福島市で開かれた縣下男女中等學校明治神宮豫選大會に出場磐女は遺憾ながら準決勝に於て福女の高田椿組に五對三のスコアで敗れたるも男子部に於けるダブルスは地元警中對平商シングルは平商同志の決勝戦となり石城の爲萬丈の氣を吐いたがダブルスは四對零のスコアでシングルは互に棄権しいづれも平商が優勝本日本着午後三時五十三分に於て學校關係者其他多數の出席を受け歡呼裡に歸平した

我勇士の奮闘を

しのぶけふの催し

行軍に旗行列に

一年前の事變勃發の日
平町各中等學校及び各小學校では本日滿洲事變勃發二週年記念日に際し夫々左の如き催しあり當時を回想して忠勇無双の我勇士の苦

行小楡山氏の講話後五年生二百餘名は大井川配屬將校引卒の下に關仰井嶽に行軍
△磐女
正木校長の記念講話の後忠魂碑を参拜し全校生徒は滿洲國旗を振りかざして町内を旗行列した
△平商
放課後矢野校長の講話職員一同忠魂碑参拜
△各小學校
午前八時の朝禮に際し各校長(第一は坂内訓導)の講話後忠魂碑遙式を行ふ

湯本區議戦

激戦豫想さる

石城郡湯本町の區會議員選舉は來月一日執行されるが定員十二名に對して現在の候補者は廿名を數へ八名の超過を見て居るので激戦を豫想されて居るが有権者は二千四百六十二名であると

公民學校擔任教諭

來月二日より授業開始

愈々來る十月二日より授業を開始する平實業公民學校の願書締切りは來る三十日であるが各科目の担任教諭は左の如くである
(修身)矢野校長(英語商業)服部(國語作文)中村(珠算商業)宮澤(商業英語地理)武川(國語習字)歴

明日のラジオ

十九日
今晩の部
後六、〇〇(子供の時間)
お話「滿洲事變の起きた日の思ひ出」高木勳 多門勉 田中正彦 黒石玲子 康野慶子 宮島澄子 司會者 瀧本セツ
後六、二五 英語講座(三) テキスト 岡田實慶
後七、三〇 講演(新京よ決定懇親會に移り盛況を呈した)
會長 瀧尾善之進 副會長 柴田武雄 會計幹事 高木喬 幹事 築館正 同野澤武藏

水産講習所設置の

運動に飛塚場長が出縣
石城郡小名濱水産試験場内石城水産會では去る十六日同場内で協議會を開き機船底洩網夜間禁止規定の解除並に水産講習所設置の件を附議し實現を期する爲め代表者として飛塚水産試験場場長其の他の一行が昨十七日出縣陳情した

青年代表

選手決定
既報石城聯合青年團では昨日午前九時より磐女に於て縣下體育大會の出場選手未決の分を詮衡し左の如く決定した
(砲丸投)平佐藤兼介(走中跳)同人(千米瑞典織走)百米小名濱草野仁(二百米)内郷中井川明(三百米)同加藤鐵兒(四百米)同寒河井武雄

高壓線に觸れて

電工黒焦となる
石城郡湯本町入山炭鑛電工渡邊勘右衛門(三三)は昨十七日午前七時頃八仙變電所前電柱で作業中誤つて二千五百ボルトの高壓線に觸れて黒焦げとなつて即死した

二毛作講習

農試分場で
石城郡神谷農事試験分場では來る廿六日午後一時より二毛作講習會を催すが講師は矢ノ崎技手である

明日の部

氣象通報 番
今晩は北東の風 晴曇半し明日は南東の風雲
前六、三〇 基礎ドイツ語 講座 橋本忠夫
前七、三〇 家庭講座 「季節向きの廢物利用」 松岡ふゆ子
御〇、〇正 和洋合奏 富士管絃樂團
後二、〇〇 「榎茸の人工栽培について」北島君三
後五、三五 産業講座「北海道に於ける農作物品種改良に就いて」安孫子孝次

裁判所たより

△石城郡四倉町字仲町九三新妻千代吉方自動車運轉手大友幸也(三三)は去る六月十八日午前十一時頃トラックに轢を積んで荷主十名を同乗し疾走中上小川村前原地内で急角度に左折し車体を轉覆せしめ同乗の渡邊武司を下車とし全治約十日間を要する傷害を與て業務上過失

失傷害罪として罰金四十圓

に本日平區裁判所に於いて略式命令を以つて處分された
△過般平支部に於いて豫審終決有罪と決定された當時住所不定無職栃木縣那須郡黒羽町前田生れ窃盜強姦前科三犯萩田寅之助(三三)に對する強盜事件の公判は來る二十一日午前九時より中島裁判長係り關口、香西兩判事陪席清田檢事立會酒井官選辯護士列席の下に開廷すると

ス 氣象通報 番

明日の部
後六、〇〇 青い鳥 管絃樂團
後六、二五 基礎フランス語講座 目黒三郎
後七、三〇 ロンドン經濟會議後に於ける海運界 黒川新次郎
後八、〇〇 夜間演藝 ビアノ獨奏 拓植千代
後八、二〇 尺八 菅原昌童 吉方謙一郎
後八、四〇 地唄「面影」 萩原正吟
後九、〇〇 漫談「夫婦喧嘩」 大辻司郎



【禁無斷轉上載演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第四十三回 血に飢ゆる村正

人もなげな主水

都築武助は、片目で黒菊石があつてせい低し、髪は所斑に少々圍つて居るだけで、實に不男の展覽會があれば一等賞は逃がさんといふ人物でございませぬ。然るに當主唐之助殿は後に十八萬石を半地にされる御方だけに外見の美しさを喜びお側に仕へる若待も美男でなければお手許へ差置かれぬ位、殊に近頃御召抱へになつた八重垣流の槍術を以つて三百石を賜はり、名さへ八重垣主水と申しまして年の頃四十二三才位色飽くまで白く兩眼尖つて人を射るばかり實に美男の上に追従輕簿を旨となし、日々八重垣流を御指南致すも殿様の氣には大層御上達でございませぬ、今兩三年を経たれば主水などは遠く及ぶ所ではござらん、大層筋が宜く在つしやるの氣合が宜いのと云ひます故殿様にはお喜び遊ばし

主「主水は稽古が上手ぢや、殊に槍は寶藏院以來の名人ぢや」
と仰しやつて、此頃では晝夜ともに八重垣主水、殿様の御側を離れませぬ

中に主水が御周旋申上げて、差出しました、此の又おるいは城下の田原清齋といふ、藪醫者の娘で少々旅藝者もやつて来たと連葉女で面は柔和に見せても内心女夜叉



といふものは斯ういふ女の事でございませぬ、是れと主水は氣脈を通じ裏にはおるいが主水を取なし、表には主水が殿を綾なし、日々御機嫌の叶

事のみ申します故、いよいよ唐之助殿は主水でなければ夜も日も明けぬ位に思召し、間もなく百石の加増を下し置かれました夫に引替へ正廉潔白の都築武助は殿様とて御遠慮なまず、御稽古を致す時でも手酷く打つたり末熟で在つしやる、劍術の形は出来ませんと遠慮なくするの彌々武助をば憎しみ遊ばし御稽古をいたす當日にも病氣だとか頭が痛いとか仰しやつて武助の稽古は怠り勝でございませぬ、都築武助もア、困つたものだ殿様には巧言令色の曲者

を御褒め遊ばすが、此の間主水の稽古を見て居れば丸芝居狂言の試合の様で氣合は知らず、第一槍の極意さへ知らぬものと見えて實に子才同様、主水のみを信じて在つしやるは困つたものと思つて居りましたが、何分御意見をいたすといへど却て諫言は耳に逆らうなといふ詞の通り、實に迷ふといふのは仕方のないもので、茲に大事件出来いたしたのは正徳の四年五月の五日端午の節句なれば何れも御殿へ罷り出でました當日恐悦を申上る、御前には家老の本多齋宮本多又右衛門青木清左衛門初めとし何れも禮服を着用なし當日恐悦を申上りました、殿様の傍には相變らず八重垣主水我こそ殿のお氣に入りといはねど顔に現はれて、人もなげなる舉動御老臣本多齋宮は兼て主水に眼を付けてお出でなざる、座の中央には都築武助も麻上下着用にて控えて居ります、其中御盃を名々下し置かれる御老臣方は是までの法式にお盃も順に廻りました、殿様は何思召しけん持てる盃を主水へ下し置かれ

唐「主水其の方より片目の武助に遣はせ」
と仰があつた、主水は畏まつて飲み干したる盃を武助の前へ差出し
主「片目の武助殿お盃を献じます」
と云はれて武助は一眼を光らせ
武「黙れ無禮者、假令殿が

片目と仰られたると雖も朋友として其方まで片眼の武助とは何だ
主「是はしたり殿が片目と仰られし故拙者も其のお取次をいたしたのが過りでござるか」
武「控えろ斯く申す武助は御家へ仕へる事四代なり、新參の其方物の遠慮も知らず人もなげなる振舞刺さへ片眼などとは無禮の一言」と色を變へて立腹いたした様子御覺になつた唐之助
唐「黙れ武助、其方は片眼であるから片目と申したの誤りか又主水も予が片目と申した故其通り申したに相違ない、目通りに立腹いたすは予に對し立腹するも同様、無禮は其方であるぞ」
武「恐れ入り奉りまする」

木村外科科
花柳科 外科 皮膚科 泌尿科 婦人科 小兒科 内科
本院 醫學博士 院長 石山謙二
副院長 五十嵐雄二
醫學士 有馬勇二
醫學士 石山謙
醫學士 石山謙
技術員 石山謙
藥劑師 石山謙
藥師 石山謙
衛生試驗所 石山謙

本院 醫學博士 院長 石山謙二
副院長 五十嵐雄二
醫學士 有馬勇二
醫學士 石山謙
醫學士 石山謙
技術員 石山謙
藥劑師 石山謙
藥師 石山謙
衛生試驗所 石山謙

本院 醫學博士 院長 石山謙二
副院長 五十嵐雄二
醫學士 有馬勇二
醫學士 石山謙
醫學士 石山謙
技術員 石山謙
藥劑師 石山謙
藥師 石山謙
衛生試驗所 石山謙

片目と仰られたると雖も朋友として其方まで片眼の武助とは何だ
主「是はしたり殿が片目と仰られし故拙者も其のお取次をいたしたのが過りでござるか」
武「控えろ斯く申す武助は御家へ仕へる事四代なり、新參の其方物の遠慮も知らず人もなげなる振舞刺さへ片眼などとは無禮の一言」と色を變へて立腹いたした様子御覺になつた唐之助
唐「黙れ武助、其方は片眼であるから片目と申したの誤りか又主水も予が片目と申した故其通り申したに相違ない、目通りに立腹いたすは予に對し立腹するも同様、無禮は其方であるぞ」
武「恐れ入り奉りまする」

磐城共濟病院
電話 六四二番
電話 二二四番

院長 石山謙二
副院長 五十嵐雄二
醫學士 有馬勇二
醫學士 石山謙
醫學士 石山謙
技術員 石山謙
藥劑師 石山謙
藥師 石山謙
衛生試驗所 石山謙

玉炭 平驛前
石炭 阿部石炭商店
コークス 電話 三七番

難波
內科一般
醫學博士 難波睦
平町大町新川端 電話 五〇二

西村屋藥局
電話 三番

10日 體溫計の検査日です
お宅の體溫計は？
◎正確な體溫計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人
計量器